

不良灯油（変質・不純灯油）が原因の石油暖房機器の故障や異常に注意

石油暖房機器に不良灯油を使うと、緊急消火できなくなったり、点火不良で煙が出たりします。思わぬ事故につながることもあるので、絶対に使用しないでください。

変質灯油

黄色や茶色に変色したり、すっぱいにおいがする灯油

- ・ シーズンを持ち越したもの
- ・ 灯油専用容器で保管されていないもの
- ・ 石油暖房機器の中に残ったもの
- ・ 日光の当たる場所で保管したものなど



不純灯油

水や種類の違った油（軽油やガソリンなど）が混じった灯油（不純灯油）

<原因>

- ・ 保管容器のふたの閉め忘れで雨水が入った
- ・ 気温の変化で容器内部に結露がおこった
- ・ 別の油を入れていた容器をそのまま使ったなど

事例

- ・ 新品の石油ストーブを「消火」しても1時間以上消えなかった。緊急消火ボタンもきかなかった
- ・ 昨年の灯油が残っている石油ストーブを使ったら芯が動かなくなり、火も消えなくなった